

日本福祉教育・ボランティア学習学会 学会ニュース

Japan Academic Association of Socio-education and Service Learning

No.70

2019年10月31日

発行

発行人：原田正樹 編集委員：佐藤陽 秋貞由美子 熊谷紀良
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番27号 ロリ工市ヶ谷3階
TEL.03-5227-7101 FAX.03-5227-7102 Eメール jimukyoku@jaass.jp

第25回北海道大会 共に学びあう、つながりの場になることを願って

第25回北海道大会実行委員会 委員長 **坂本大輔** (登別市社会福祉協議会)

本大会は、「未来へつなぐ。みんなでつなぐ。～多文化共生社会を育む福祉教育とボランティア学習」を大会テーマに掲げ、実行委員をはじめ、北海道内で先進的な取り組みを行っている法人、団体等の皆様に学会活動はもとより大会趣旨にもご賛同いただき、開催準備を進めています。

さて、私が実行委員会に関わらせていただいたきっかけは、一昨年、先輩たちと北海道の福祉教育やボランティア学習の危機感を語り合ったことに始まります。「北海道の福祉教育はこのままではいけないのではないか」、「事業担当者が一人になっていないか」、「今一度つながろう」と、アクションを起こそうとしたタイミングで、今回の北海道大会のお話を頂戴しました。そんな中、先輩たちに追い込まれ、実行委員長まで仰せつかってしまったのが実情です。



そうは言いつつも、私自身も入職以来、福祉教育やボランティア学習の実践の可能性を信じ、研究、議論を重ね、その魅力を語り、現場に赴く数多くの先輩たちや仲間との出会いに恵まれ、そこでのご縁が“きずな”となり、その方々に支えられ、今日まで生かされてきました。きっかけはどうか、今回の拝命もこれまでの恩返しのもりで、覚悟を決めて向き合うこととしたところです。

北海道大会実行委員会の設立までには、有志による勉強会を重ねてきています。今回の大会開催をきっかけに、当初抱いていた北海道内の仲間がつながる場をつくっていくことができ、学会員の皆様はもとより、実行委員や登壇を快諾いただいた皆様には大変感謝しています。少し気が早いですが、このつながりが、本大会だけで終わるのではなく、今後も共に学びあう機会を継続していきたいと決意を新たにしています。

私は、「いのち」と「暮らし」に向き合う福祉教育・ボランティア学習の背景には、「出会い」と「共感」があるからこそ、「共に生きること」につながると信じ続けています。

私たち実行委員の想いをカタチにしていくためには、多くの皆様との「出会い」が欠かせません。実行委員一同、本大会が、学会が掲げる研究と実践に資することができる大会を目指すことはもちろんのこと、皆様にとっても、これまでのご縁を紡ぎなおせる機会に、今のご縁を深められる機会に、新たなご縁に恵まれる機会になるよう、大会へのご参加を改めてお願い申し上げます。

この時期の北海道は大会以外の魅力（旬の食べ物や旬の食べ物）もいっぱいです。実際にお越しただければ間違いなく「共感」いただけることでしょう。

北海道の大地で皆様にお会いできること、共に学びあえることを楽しみにしております。